

## 平成25年度第2回議会報告会（市民と議会のつどい）実施報告書

開催日時	平成25年11月16日（土） 19時00分 ～ 21時00分	
開催場所	木津第二中学校（多目的ホール）	
担当議員	班代表者	深山 國男
	司会者	尾崎 輝雄
	報告者	呉羽 真弓
	記録者	柴田はすみ・兎本 尚之
	班員 （上記以外）	高味 孝之
一般参加者数	2 人	
主な質疑 ・意見等	<p>Q：議会報告会に参加される方が少ない事に関して議員はどう考えているか。報告会に来ている市民の声を掬い上げてもらえる体験をしたら、参加者も増えるのでは。私としては、充分意見を述べることができるが。 （参加議員の意見を求めた）</p> <p>A：どこの自治体でも参加が少ないことに悩んでいる。少しでも議会の内容を知って頂くために始めたものである。議員に付託しているのだから参加しなくてもよいと考えているのでは。増やす方法については議会の中でいつも協議しているが中々良い手がない。今後も工夫したい。 いただいた意見をどうしていくか、議員の姿勢に関わっていくと考える。</p> <p>Q：議会だよりの質疑は、問いと結論だけしか書いていなくて理由がわからない。もう少し詳しく書くべき。</p> <p>A：紙面上困難かと思われるが、広報委員会でスペース的なことも含めて内容がきちんと伝わっているか議論していきたい。</p> <p>Q：扶助費が膨らみ過ぎている。特に介護保険事業は第二の公共事業になるのではないか。障害者相談事業が随意契約で委託されている。契約が問題では。十分実施されているとは思えない。議会でも追及していくべき。</p> <p>A：随意契約の件については、今すぐ即座には返せないが調査の上、所管の委員会などで掘り下げて話し合っていく。</p> <p>Q：民生費が毎年膨らんでいるのをどう考えているか。</p> <p>A：民生費は、たくさんの項目が含まれている。全体で膨らんでいるからというだけで切るという事はできないと思うが、細かいチェックが必要。利用料金など支払うものはきちんと支払ってもらうなど不公平</p>	

	<p>にならないようにすべき。過剰な福祉は支えている側とのバランスが大事。歳入を増やし支える努力も必要と考える。</p> <p>Q：病後児保育は医療的ケアが必要だから病院内にあるのか。 A：本当は病児保育が必要。病院側が受け入れてくれない状況と聞く。病児保育の実施に向け取り組みを進めていきたい。</p> <p>Q：防災関係について聞く。東日本大震災では、専門家がいない学校といない学校ではかなり差がついた。自分の身は自分で守ることを教えるべき。徹底した防災訓練を行ってほしい。自給自足だ。 A：地震による液状化問題や河川水路などが問題と考えているので一般質問などでしっかり訴えていきたい。市では専門的な知識をもった職員を総務部理事に配置し先日、内部的な防災訓練を行った。少しずつではあるが防災意識向上に取り組んでいると考える。</p>
<p>そ の 他 特 記 事 項</p>	<p>・ 質疑の内容を詳しく載せて欲しいとの要望は、広報委員会に伝える。</p>

上記のとおり、報告します。

平成25年12月2日

木津川市議会議長 西 岡 努 様

平成25年度第2回議会報告会

第3班 代表者 深 山 國 男 ㊟